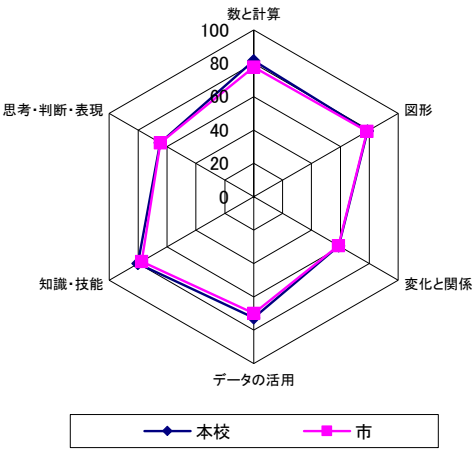


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	81.6	77.7	78.6
	図形	78.8	78.4	74.4
	変化と関係	58.9	58.7	53.0
	データの活用	72.6	69.9	57.2
観点別	知識・技能	80.2	77.5	74.0
	思考・判断・表現	64.8	64.5	58.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は市の平均より3.9ポイント高い。 ○小数や分数の計算の問題では、どれも市の平均を上回った。 ○分数を使った割合の問題の平均正答率は、市の平均正答率より11.3ポイント高い。 ●文字を使って2つの数量の関係を一つの式に表す問題の正答率は67.8%で、市の平均を3.4ポイント下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・文字を使って2つの数量の関係を1つの式に表すときに図や具体物を使って、考える活動を取り入れていく。 ・解法や理由を説明したり、算数の用語を使って分かりやすく文章でまとめたりする活動を意図的に取り入れていく。
図形	平均正答率は市の平均とほぼ同じである。 ○四角形の内角の和の求め方を説明する問題では、市の平均を5.6ポイント上回った。 ○対称な図形に関する問題では、平均正答率は94.4%で市の平均よりも上回っていた。 ●図が載っていない円の面積を求める問題では、平均正答率が6.3ポイント市の平均を下回っている。 ●2つの内角が与えられた三角形の一つの外角を求める問題では、市の平均を下回っている。	・図を注意深く読み取り、何を求めたらいいのかを正確に把握してから、学んだことを使って解決に向かう指導をしていく。 ・図形の移動を視覚的に捉えらえるようにデジタル教材や具体物を活用する。 ・文章問題を図に表す指導をしていく。
変化と関係	平均正答率は市の平均とほぼ同じである。 ○速さの単位を変換する問題では、市の平均を7.9ポイント上回った。 ●図から混み具合を考察する問題では、市の平均を2.7ポイント下回った。 ●百分率を使った割引後の値段を求める問題では、市の平均正答率を4.7ポイント下回った。	・前学年で学習した内容を復習し、基礎的・基本的な指導事項を抑えながら、繰り返し学習していく。 ・文章問題を注意深く読み、何を求めたらいいのかを正確に把握してから、学んだことを使って解決に向かう指導をしていく。 ・単位量あたりの計算では、何を基準とするのかを考えさせ、どちらが混んでいるかを比べることができるようにする。
データの活用	平均正答率は市の平均より2.7ポイント高い。 ○円グラフから割合を読み取る問題では、市の平均を2.1ポイント上回った。 ○ドットプロットから最頻値と中央値を求める問題では、市の平均を4.7ポイント上回った。 ●ヒストグラムの特徴をもとに、説明する問題では、市の平均を1.3ポイント下回った。	・グラフを見て情報を読み取る機会を多教科にまたがって意図的に取り入れ、理由や説明を記述する学習活動を重ねる。